

革新的なレーダー技術で新市場を開拓 地域連携による日本製高技術センサーで海外に挑む

「レーダー技術をもっと身近に活用できる技術へ」という志を掲げ、創業以来イメージングセンサーおよび高性能なマイクロ波/ミリ波機器を開発。特に小型・高性能な「miRadar®8」(マイレーダー エイト)を自社ブランドとして発売し、複数人の心拍・呼吸の検出アルゴリズムを実装したバイタルセンサーを日本で先駆け販売、「第35回神奈川県工業技術大賞 奨励賞」および「令和3年 九都県市のきらりと光る産業技術表彰」を受賞している。目標の方位を正確に検出できる特徴を活かし、国土交通省の除雪機の「後方近接車両検知システム」にも採用されている。

所在地 神奈川県横浜市港北区新横浜3-2-6
VORT新横浜4階B号室
電話/FAX 045-548-9611/045-548-9533
URL <https://sakuratech.jp/>
代表者 代表取締役 酒井 文則

設立 2008年
資本金 1,000万円
従業員数 12人



非接触で複数人の心拍・呼吸の同時測定が可能に

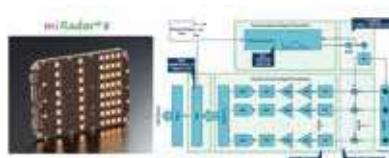
独自の高度な技術により実現したVSMシステムは非接触かつ衣服の上から複数の心拍、呼吸を長時間にわたりモニタリングすることが可能である。プライバシーを侵害することなく対象者の生体情報や位置を検出できるため、病院や介護施設での健康管理やビル内部の人員検知などへの応用展開ができる。昨年、見守りシステムメーカーと提携して患者の心拍・呼吸数を常時測定できる機器をコロナ軽症者療養施設に1か月無償提供した。非接触測定が可能なため、看護師の接触リスクや精神的負担の軽減に貢献している。



非接触で衣服の上から心拍、呼吸を計測

技術力が認められ半導体メーカーとアライアンスパートナーに

同社のミリ波回路開発の技術力が評価され、大手半導体メーカーであるAnalog Devices, Inc.と2016年からアライアンスパートナーになった。以降、レーダー用IC評価ボードの開発段階から参画するようになり、新ICが発売されるまでに製品の先行開発が可能となった。これにより大手メーカーに向けてタイマーな提案活動が可能となり、優位性を得られるようになった。さらに試作完了までの時間短縮およびコスト低減となり顧客満足度の向上につながっている。



共同で開発した「miRadar® 8」

公的支援を活用し積極的に海外事業体制の構築を加速

海外展示会に積極的に参加して直接商品価値をPRするだけでなく、対話のなかからニーズの情報収集を行い、さらなる販路拡大へと繋げている。たとえば、米BizMatch2018出展で非接触心拍・呼吸センサー需要の確証を得たことから、独医療機器展示会MEDICA2020へ出展し、多数問い合わせに繋げた。日本製品だということがわかるよう会社名を「Sakura Tech」、ブランド名を「miRadar」(世界8か国登録済み)と命名し、国内代理店および社内体制を構築してジェトロの支援を受け海外事業を推進している。



海外展示会に積極出展 (CeBIT2018)